

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 5年 6月 日	
愛知県知事 殿	
提出者 〒 460-0016	
住 所 名古屋市中区橋一丁目 1番 20号	
氏 名 中日建設 株式会社 代表取締役 高木 賢一朗	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 052-321-6501	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	中日建設株式会社
事業場の所在 地	政令指定都市を除く愛知県内
計画期 間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種 類	06 : 総合工事業
②事業の規 模	元請完成工事高 : 1526 百 万円
③従業員 数	78 人

④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>公共工事を主体とした土木一式及び舗装工事がれき類→中間・再生処理業者に委託して原材料として再資源化。</p> <p>木くず・紙くず・金属くず→中間・再生処理業者に委託して原材料として再資源化。混合物→中間・再生処理業者に委託し、分別し、再資源化</p> <p>建設汚泥→中間・再生処理業者に委託し脱水・乾燥により減量し再資源化。廃プラスチック→中間・再生処理業者に委託し、破碎・選別・溶融減量し、燃料チップや原材料として再資源化。ガラス・陶磁器くず→中間処理業者に委託し分別後、埋立処理。</p>
-----------------	---

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>本社</p> <pre> graph TD A[代表取締役社長 (廃棄物処理管理責任者)] --- B[工事本部長 (廃棄物処理総括責任者)] B --- C[工事部長 (工事1課・工事2課・工事3課)] C --- D[工事現場責任者 (産業廃棄物管理者)] </pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度 (4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙
	排出量	別紙	別紙
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>現場構造物の撤去、破碎に伴うがれき類の廃棄物は、ほぼ100%に近い再生率なので、今後も徹底する。</p>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙
	排出量	別紙	別紙

		(今後実施する予定の取組) 材料管理を徹底し、余剰材、廃棄材を発生させない。発注者と調整を行い更なる削減に取り組む。
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・木くず・紙くず・廃プラスチック類・がれき類の分別を 作業員全員に周知徹底している。
2 計画		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の分別処理を徹底できる優良認定処理業者への委託処理を増やし、最終処分量の発生を抑制する。 分別パレットの種類を増やし、更なる分別の細分化を徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙	別紙
	(これまでに実施した取組) 既設護岸で発生したがれき類は、再生砕石や袋詰め玉石の材料として利用し汚泥は改良土の原材料として利用。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙	別紙
	(今後実施する予定の取組) 今年度も同様な工事があれば、発注者と調整を行い削減に取り組む。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 2 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙

	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙	別紙
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙	別紙
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙	別紙
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙	別紙
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙	別紙
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙	別紙

		(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙
	全処理委託量	別紙	別紙
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙	別紙
	再生利用業者への 処理委託量	別紙	別紙
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙	別紙
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	別紙	別紙
	(これまでに実施した取組) 分別の徹底を図り、建設混合廃棄物の縮減に努めている。委託契約先の設備調査を定期的に行い、処理能力の把握を行い最終処分量の発生を抑制している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙
	全処理委託量	別紙	別紙
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙	別紙
	再生利用業者への 処理委託量	別紙	別紙
	認定熱回収業者への	別紙	別紙

	処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙	別紙
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>社会情勢の変化から、家電ゴミが現場内でも多数発生しています。</p> <p>産業廃棄物との分別を明確にし、混合廃棄物にならないよう、法令を遵守し施工する。産業廃棄物の集積・取り扱い手順を周知徹底し再生利用率の向上に努める。処理能力の高い優良認定処理業者、委託業者・中間処理業者を積極的に利用する。マニフェスト管理を徹底し、廃棄物の更なる再生利用量の増大を図る。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

	廃棄物の種類	汚泥	がれき類	木くず	廃プラスチック	混合廃棄物	ガラス・陶磁器				
	名称(任意の名称を記入してください)	建設汚泥				管理型					計
①	排出量(t)	1279.1	5328.2	30.8	4.0	99.9	87.0				6829.0
②	自ら再生利用を行った量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
⑩	処理委託した全量(t)	1279.1	5328.2	30.8	4.0	99.9	87.0				6829.0
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	6.0	6.3	12.4	4.0	99.9	87.0				215.6
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	1273.1	5321.9	18.4	0.0	0.0	0.0				6613.4
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0

別紙2

【今年度(令和5年度)計画】

	廃棄物の種類	汚泥	がれき類	木くず	廃プラスチック	混合廃棄物	ガラス・陶磁器				
	名称(任意の名称を記入してください)	建設汚泥				管理型					計
①	排出量(t)	1000.0	5000.0	25.0	2.0	90.0	80.0				6197.0
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0				0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0	0	0	0				0
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0				0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0				0
⑩	処理委託する全量(t)	1000	5000	25	2	90	80				6197
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	100.0	500.0	25.0	2.0	90.0	80.0				797
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	900.0	4500.0	0.0	0.0	0.0	0.0				5400
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0				0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0				0